

東日本大震災に伴う被災地支援

宮城県亘理町への 介護保険認定調査支援の報告

練馬区総合福祉事務所
高齢者支援係

練馬高齢者相談センター（地域包括支援センター）

支援隊派遣の経緯（本部班・避難所班）

- ▶ 3月30日から4月1日まで宮城県庁、宮城県社会福祉協議会に区からできる支援は何か情報収集行う
- ▶ 亘理町から人的支援の要請を受け職員派遣に至る
- ▶ 先発隊は4月11日から、4月12日からは統括する現地本部班・避難所班、それぞれ3名ずつ派遣、町職員とともに炊き出しの手伝い、清掃、ゴミの分別、救援物資の整理、搬送を行う
- ▶ 避難所の閉鎖に伴い避難所派遣は6月5日で終了

認定調査班派遣の経緯

- ▶ 4月12日からの1次隊派遣時に亘理町地域包括支援センター職員が被災者対応の業務で多忙な状況確認。
- ▶ 介護保険事務業務が滞っている実態について、亘理町と協議、認定調査に係る人的支援の要請を受ける。
- ▶ 4月18日から介護保険認定調査に従事する2名を派遣
- ▶ 認定調査班は5月27日付けの国から介護認定の有効期間に関する特例の通知があり、以後更新申請がなくなり6月10日で全て終了

練馬区支援隊の概況

	本部班・避難所班	介護認定調査班
先発隊	4/11~4/13	
第1次隊	4/12~4/19	
第2次隊	4/18~4/25	4/18~4/25
第3次隊	4/24~5/1	4/24~5/1
第4次隊	4/30~5/7	4/30~5/7
第5次隊	5/6~5/13	5/6~5/13
第6次隊	5/12~5/19	5/12~5/19
第7次隊	5/18~5/25	5/18~5/25
第8次隊	5/24~5/31	5/24~5/31
第9次隊	5/30~6/5	5/30~6/3
第10次隊		6/6~6/10

引き継ぎの様子





主要道路

・常磐自動車道(亶理町IC)

・国道6号

主要鉄道

・JR常磐線

巨理町 役場



巨理町役場外観

亘理町の被害状況

- ▶ 人口 35,585人（平成23年2月28日現在）
65歳以上 約8100人
- ▶ 世帯 11,442世帯
- ▶ 震度6弱
- ▶ 沿岸部の防波堤は津波で決壊（7mの高さ、内陸4kmまで）
- ▶ 被災者 約 9,200人
- ▶ 被災世帯 約 3,000世帯
- ▶ 住宅・建物被害 3557棟
- ▶ がれき量 127万t（単純計算で処理に607日かかる）
- ▶ 死者数 257人（平成23年10月12日現在、宮城県HP）
- ▶ 行方不明 13人
- ▶ 面積の48%が浸水
- ▶ 仮設住宅 1126箇所

沿岸部側の様子



津波被害による老人福祉センター



4本の柱でかろうじて立つ漁業共同組合



住宅地に横たわる漁船



破壊された「いちご」のハウス



亘理町 津波の爪跡



認定調査の滞った背景

- ▶ 震災により高齢者の体調の変化で認定申請が増える
- ▶ 避難所生活から入院、入所が増える
- ▶ 被災者相談への対応で調査業務一時停止
- ▶ 調査員も被災したことにより調査員不足
- ▶ 申請時と調査時の所在が異なり所在確認に時間を要す
- ▶ 町外(亶理町外)宮城県内陸部への調査が増える
- ▶ 事業所への委託が困難

調査班活動内容

- ▶ 亘理町地域包括支援センターを拠点に活動
- ▶ 一班は職員2名で行動
- ▶ 全国統一の介護保険認定調査を行う
- ▶ 保険者の亘理町の方法で行い記録
- ▶ 町内、町外(宮城県内)の調査
- ▶ 町外は車(練馬区が調達したレンタカー)で移動
- ▶ 次の派遣調査班の調査予定を調整
- ▶ 申請者と調査場所へ連絡
- ▶ 調査後に包括職員へ報告

調査地区

★ 亶理町

● 調査場所

亶理町外
17箇所

車の走行距離
各班平均
400k~500k



宮城県地図

http://okuridanote.jp/ce7aa.net/

認定調査場所

	自宅	避難先	施設	病院	合計
亶理町内	10	6	2	0	18
亶理町外	0	27	14	26	67
合計	10	33	16	26	85

・亶理町外は昨年比 5~6倍

認定調査への支援

地域包括支援センターへの支援の結果

- ▶ 震災後の調査増に対する調査の滞りの回避
- ▶ 町外調査への支援によって亘理町職員が窓口対応、生活支援業務に専念
- ▶ 避難先での実態把握と暫定サービス利用の要望に迅速に対応
- ▶ 震災後の対応に奔走している職員への負担軽減

仙台いちご

